

作成年月日：西暦 2019 年 9 月 3 日（Ver.1.0）

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】院内がん登録を利用した臓器別の看取り先の傾向について

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：2007 年から 2018 年に登録された院内がん登録症例及び診療情報
- 2) 受診科：久留米大学病院のがんを診療した診療科
- 3) 対象疾患名：がんと診断され、亡くなられた方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【院内がん登録標準登録様式、診断名、診断年、住所、死亡日、死亡場所、家族構成など】

【研究目的】

久留米大学病院は福岡県久留米市にあり、福岡県南部および隣接する佐賀県東部、大分県西部の中核病院として機能しています。地域医療構想では、「がん」患者の在宅での看取りを推進していますが、高齢化・核家族化が急速に進行するなかで、筑後地域のような過疎地を背景とする癌患者のみとりの形態は今後さらに注目されてゆくと考えられます。

今回、今後の地域医療連携の在り方の一助にすべくがん患者の看取り先の状況について検討することで、当院が今後どのように対応すべきかについて踏まえ、更に福岡県南部のがん診療連携拠点病院として地域の発展に寄与すべく研究したいと考えます。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から令和 5 年 3 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する試料・情報の管理責任者）：久留米大学病院腫瘍センター 教授 鳥村 拓司

問い合わせ担当者：久留米大学病院腫瘍センター

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学研究所

修士課程 折岡 健太郎

電話：0942-35-3311（内線 5172）

E-mail: orioka_kentarou@kurume-u.ac.jp